



夏休みが終わって2学期がスタートしました。休業中は規則正しい生活を送っていましたか？

3年生にとっては、推薦入試や就職試験があるのでのんびりしてはいられないですね。特に今年度は新型コロナウイルスの影響で進学も就職も狭き門となることが予想されるので、より一層の努力が必要だぞ！1・2年生も今から準備せよ！

「食と栄養の大百科」で、食品と健康の気になるギモンを解決しよう！！

私たちが健康に生きていくためには、食事を欠かすことが出来ません。私たちの周囲には「食」「栄養」「健康」に関する情報が溢れています。しかし、どの情報が正しいものなのか、迷ってしまう人も多いのではないのでしょうか？ 情報の真偽を適正に判断するためには、豊富な知識を正しく身に着ける必要があります。

「食」と「健康」を考える時に重要となるのが、食品の中に含まれている栄養素です。「炭水化物」「タンパク質」「脂質」「ビタミン」「ミネラル」が五大栄養素ですが、これらの栄養素はそれぞれ、どの食品に多く含まれ、私たちの体内でどのような機能を果たしているのかを知っておかなければなりません。また「病気」と「健康」の関係についても、健康的な容姿を保つためにはどのようなことに気を付ければよいのかを知識として知っておけば、胃炎・高血圧・痛風・貧血などの病気を予防したり、病気から回復したりするときに摂取すべき食事とはどのようなものなのかなどの情報を的確に役立てることが出来ます。

「健康に良い理想の食事」「食を楽しむ体のしくみ」「栄養素を正しく知ろう！」をテーマに学んでみましょう。



「テルミ」を使って点字に挑戦してみよう！！

視覚障害児のための“手で見る点字絵本”

これまで図書館には「手話」に関する資料はたくさんありましたが、「点字」に関する資料がありませんでした。「点字」を基礎から学んでもらうための資料を探していました。

「テルミ」は目の不自由な子どもたちの、手で見る触察絵本です。点字だけでなく、触察できるイラストがあり、触って読んで楽しむことができる視覚に障害のある子どもたちを対象にした学習絵本です。発泡インクを使った点字と墨字（普通文字）を併記してあるので、目の見える親や友だちと一緒に楽しむことができます。隔月発行で、「めいろコーナー」、「作って食べよう」などのページが人気です。「テルミ」を使って「点字」に対する理解を深めましょう。



図書館からの挑戦状だ！「ドリフターズ殺人事件」犯人は誰だ？！

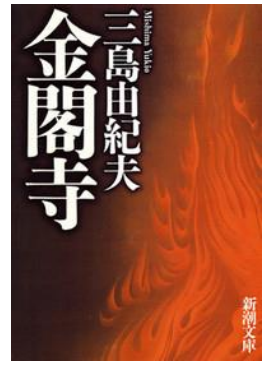
お笑いコントグループ「ドリフターズ」のメンバーは「いかりや長介」「加藤茶」「仲本工事」「高木ブー」「志村けん」の5人で、彼らのスケジュールを管理するマネージャーがいつも一緒でした。彼らは次のステージ公演のために都内の某所でリハーサルをしていました。12時になりお昼休憩になりましたが、休憩時間が終わってもマネージャーが戻ってきません。メンバー5人で探しに行くと、マネージャーはトイレで殺されていました。そして、手には「ツマル」と書かれたトイレトペーパーが握られていました。さて、このダイニングメッセージをヒントに誰が犯人かを推理してください。（答えは図書館の掲示板で）

時代を超え、ジャンルを超えて愛される1冊がある！！

1950年7月1日、「国宝・金閣寺焼失。放火犯人は寺の青年僧」という衝撃のニュースが世人の耳目を驚かせた。この事件の陰に潜められた若い学僧の悩み——ハンディを背負った宿命の子の、生への消しがたい呪いと、それゆえに金閣の美の魔力に魂を奪われ、ついには幻想と心中するにいたった悲劇……。31歳の鬼才三島が全青春の決算として告白体の名文が異様な緊張感を孕み、悲しい人間の核心を描いた不朽の金字塔である。

「金閣寺」は時代を超え、ジャンルを超えて愛されてきた！キミたちの世代にも伝えたい！

「三島」をもっと知りたくなったキミにお薦めの1冊だ！「読書の秋」に是非読んで欲しい！



「目標を持って！」自分の進路は自分で決める！自分の未来は自分のものだ！

今回は進学スポーツCの担任であり、サッカー部の顧問でもあり、進路を担当してくれている「栗原崇」先生です。栗原先生は大学では国際関係学部で学び、現在は「英語」を教えています。国際派なんですかね？



Q：教科（英語）指導で工夫していることはありますか？

A：自分は大学の国際関係学部で学んできたので、授業の中に国際社会に関する時事問題を提起して自分の考えを持たせるようにしています。例えば、国ごとの「コロナ対策について」どう思うかという課題で話し合いをさせます。

Q：進路指導ではどんなことを心掛けて指導されていますか？

A：1年生の頃から「目的意識」を持たせるよう心掛けています。学校名だけで決めたりするのではなく、何を学びどんな仕事に就きたいのかという目標をもって進路を決めさせたいと考えています。

Q：みんなへの「オススメの1冊」を紹介して下さい。

A：書籍ではありませんが、「The Japan Times Alpha」という英字新聞です。世界情勢や日本の出来事が記事になっていて、これからの大学の新テスト対策としても大いに役立つと思います。今年度から図書館に排架されているので、是非読む習慣をつけて欲しいですね。昨年からデジタル版を送ってもらっているので授業でも教材として取り入れています。高校生はスポーツの記事に関心が高いようです。

「学校図書館」で働くための資格。先生は何者ですか？

令和2年度群馬県立図書館の夏休みボランティアが8月5日～7日に行われ、「キリイチ」からは「瀬野遥加さん」(2-1)が参加しました。ボランティアでは「ビブリオバトル」や「館内業務」など図書館の仕事について理解を深めることができました。

そこで今回は「図書館員の資格」について学んでみましょう。

ある日、「先生、前に図書館にいた司書さんは授業がなかったけど、先生は授業を持てますね。先生って司書じゃなくて何者なんですか？」と尋ねられました。「図書館にいる



司書ってというのはね、先生じゃなくて事務員なんだよ。『学校図書館法』には『専ら学校図書館の職務に従事する職員』とあって、便宜上『いわゆる』学校司書って呼んでいるんだ。数年前から『文部科学省』は、「司書」とは別に『教職課程』『司書教諭課程』『司書課程』の中から数科目受講させる『学校司書課程』を作って『学校司書』を育成しようとしているんだ。「なぜそんな中途半端な資格を作ろうとしているんですか？」「『司書』は事務員であって先生じゃないから授業ができないからさ。資料の収集や登録、管理、提供だけでなく授業サポートができるように、教育課程にかかわれるような人材を育てたいんだね。」「へえーそなんですか。じゃあ先生は何者なんですか？」「僕は『教職』『司書教諭』『司書』全ての資格を有する本物の『学校司書』さ。」「それって結構すごいじゃないですか。」「見直したかい。」「はい。でも、先生として授業をやりながら、司書さんのように本の整理なんかするのって大変じゃないですか。」「そーだね。図書館の仕事を理解してくれない人は多いけど、『図書部』が自主的に仕事を手伝ってくれるので助かってるよ。」「先生これからも頑張ってください。それから面白い本をたくさん入れて下さいね。」「ありがとう。任せて！」